

資料3-2

2024年12月25日
東京電力ホールディングス株式会社

I. モニタリング結果概要

今回のまとめ

- 1 採取日 2024年6月25日 ~ 2024年10月1日
- 2 地点数 11地点
- 3 総検体数 29種 179検体 (クロソイの検体数：4検体)
- 4 不検出数 176検体 (98.3%)

2024年7月～9月に東京電力が実施した福島第一港湾外における魚介類のモニタリングのうち、セシウム濃度が検出された魚介類を以下に示す (セシウムの食品基準値100Bq/kgを超える試料は無かった)。

採取地点	採取日	魚種	全長(cm)	体重 (kg)	セシウム合計 Bq/kg(生)
T-S3	8月21日	コモンカスベ	49.2	1.18	4.4
			48.3	0.99	
			43.6	0.80	
T-S4	8月21日	コモンカスベ	45.6	0.97	3.6
			49.3	1.04	
			49.0	1.01	
T-B1	10月1日 (9月分)	カナガシラ	29.2	0.25	3.9
			27.7	0.23	
			29.5	0.25	
			29.0	0.25	
			32.0	0.32	

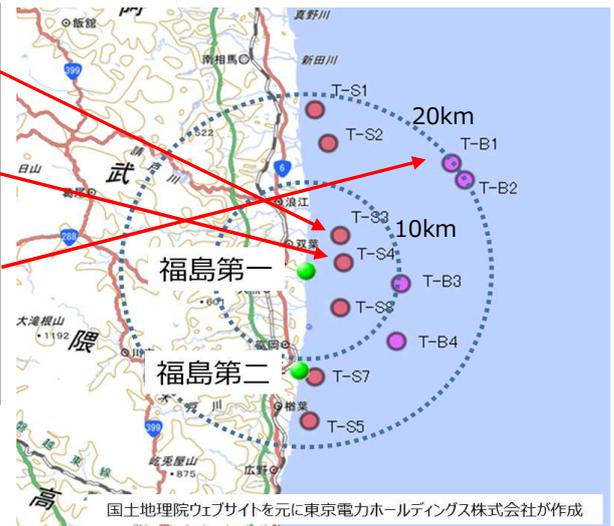


表1 放射性セシウム濃度が100Bq/kgを超えた検体数・割合と不検出の検体数・割合

年	月	全体数	100Bq/kg 超		検出～100Bq/kg		不検出	
			検体数	%	検体数	%	検体数	%
2011年		3	0	0.0	2	66.7	1	33.3
2012年		1197	389	32.5	654	54.6	154	12.9
2013年		1086	133	12.2	713	65.7	240	22.1
2014年		1104	15	1.4	616	55.8	473	42.8
2015年		1087	3	0.3	501	46.1	583	53.6
2016年		1183	2	0.2	411	34.7	770	65.1
2017年		1270	2	0.2	245	19.3	1023	80.6
2018年		1211	0	0.0	116	9.6	1095	90.4
2019年		1002	0	0.0	62	6.2	940	93.8
2020年		940	0	0.0	54	5.7	886	94.3
2021年		854	0	0.0	31	3.6	823	96.4
2022年		801	0	0.0	19	2.4	782	97.6
2023年		737	0	0.0	12	1.6	725	98.4
2024年	4月	87	0	0.0	1	1.1	86	98.9
	5月	76	0	0.0	2	2.6	74	97.4
	6月	81	0	0.0	1	1.2	80	98.8
	7月	57	0	0.0	0	0.0	57	100.0
	8月	65	0	0.0	2	3.1	63	96.9
	9月	57	0	0.0	1	1.8	56	98.2
合計		12898	544	-	3443	-	8911	-

図1 測定回数と基準値超え・不検出の割合の経時変化

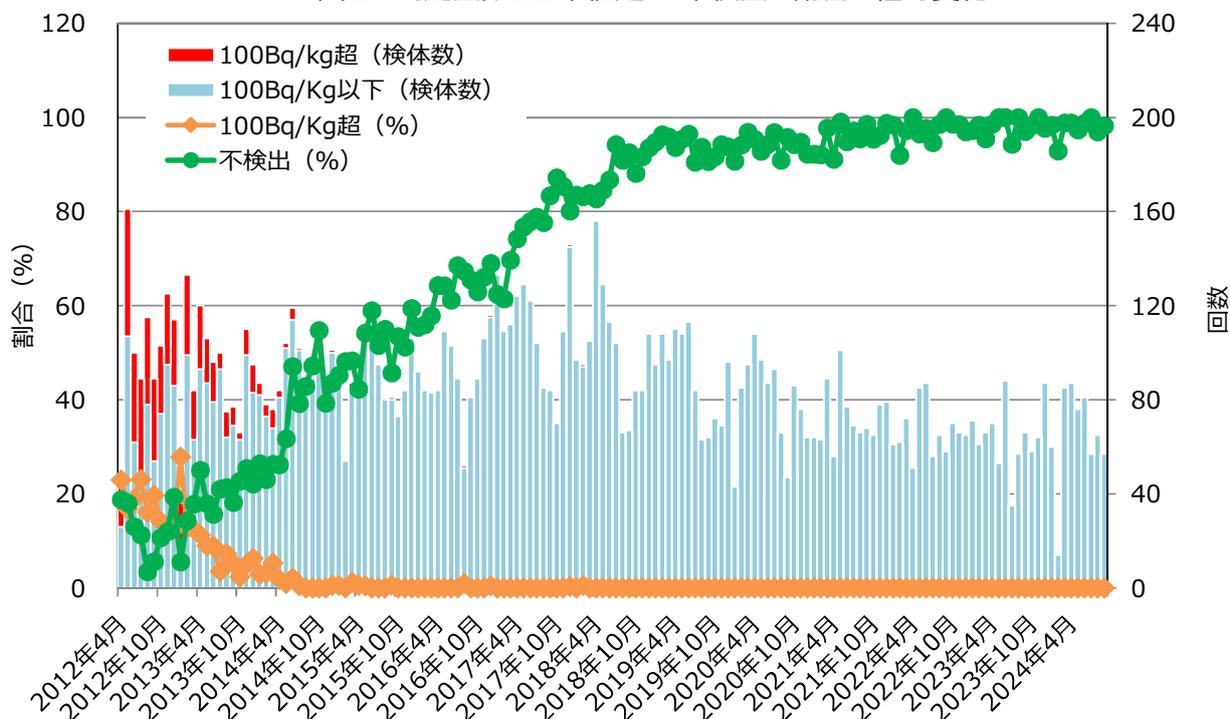


表2 モニタリング実績

- ・魚種数：34種 検体の種類数
- ・2024年4月～2024年9月に採取

分類	魚種名	分類	魚種名
魚類	アイナメ	魚類	トラフグ
	アカエイ		ニベ
	イシガレイ		ババガレイ
	イシダイ		ヒラメ
	カスザメ		ブリ
	カナガシラ		ホウボウ
	ガンゾウビラメ		ホシエイ
	キアンコウ		ホシザメ
	クロソイ		マアジ
	クロダイ		マコガレイ
	コモンカスベ		マゴチ
	ショウサイフグ		マサバ
	シログチ		マダイ
	スズキ		マトウダイ
	ソウハチ		ムシガレイ
	タチウオ		メイタガレイ
	チダイ		甲殻類

II. 定点モニタリング結果概要

(1) 魚の測定結果（トリチウム（H3））

2024年3月～5月に採取したヒラメ・カレイ類のトリチウム濃度の測定結果を示す。

組織自由水型トリチウム（FWT）の濃度は、採取地点の海水のトリチウム濃度と同程度、有機結合型トリチウム（OBT）はすべて不検出であった。

採取地点	採取日	魚種	全長 (cm)	体重 (kg)	組織自由水型トリチウム (Bq/L)	有機結合型トリチウム (Bq/L)	海水(H3) (Bq/L)	期間中における海水の平均値と幅						
								平均値	幅					
20 km 圏内北側	4月3日 (3月分)	ヒラメ	48.2	1.04	0.097	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満					
			46.5	0.98										
			52.3	1.34										
	4月18日	マコガレイ	40.9	0.74	重量不足	重量不足	検出限界未満							
			41.6	0.63										
			49.7	1.07										
	5月21日	ヒラメ	48.1	1.07	重量不足	重量不足	検出限界未満							
			49.7	1.07										
			48.1	1.07										
	4月3日 (3月分)	ヒラメ	57.5	1.70	-	-	検出限界未満							
4月18日			対象魚なし	-				-	検出限界未満					
5月21日			マコガレイ	38.3				0.61	重量不足	重量不足	検出限界未満			
35.8	0.48													
10 km 圏内	3月5日	対象魚なし	-	-	-	-	検出限界未満	0.10	検出限界未満 ～ 0.18					
			4月12日	ヒラメ						70.3	3.53	0.074	検出限界未満	検出限界未満
										51.5	1.33			
	50.1	1.29												
	5月9日	ババガレイ	38.5	0.63	重量不足	重量不足	0.14							
			41.0	0.78										
			3月5日	ヒラメ						59.3	2.01	-	-	検出限界未満
	4月12日	ヒラメ	57.8	1.85	重量不足	重量不足	検出限界未満							
	5月9日	ババガレイ	43.8	0.88						重量不足	重量不足			
	3月26日	ヒラメ	63.0	2.62	0.066	検出限界未満	0.039							
			57.5	1.80										
			52.2	1.32										
			4月16日	ヒラメ						70.0	4.26	0.058	検出限界未満	0.058
56.1			1.81											
5月23日	ヒラメ	64.8	2.69	0.14	検出限界未満	0.081								
20 km 圏内南側	4月6日 (3月分)	ヒラメ	67.8	3.23	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満	0.19	検出限界未満 ～ 0.19					
			4月24日	ババガレイ						41.3	0.82	重量不足	重量不足	検出限界未満
										37.4	0.62			
	41.6	0.87												
	6月7日 (5月分)	ヒラメ	47.4	1.18	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満							
			53.5	1.48										
			59.6	1.25										
	4月6日 (3月分)	ヒラメ	44.4	0.84	-	-	0.19							
			4月24日	対象魚なし						-	-	検出限界未満		
			6月7日 (5月分)	ヒラメ						58.5	2.19		検出限界未満	検出限界未満
			56.3							1.79				
57.8	2.08	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満										

－：採取中止または試料量不足により分析中止



【組織自由水型トリチウム（FWT）】

- ・魚の体の水分に含まれているトリチウムのこと。水として体内（組織内）を移動することから組織自由水型と言う。
- ・測定値は、魚を凍結乾燥して回収した水分に含まれるトリチウムの濃度。

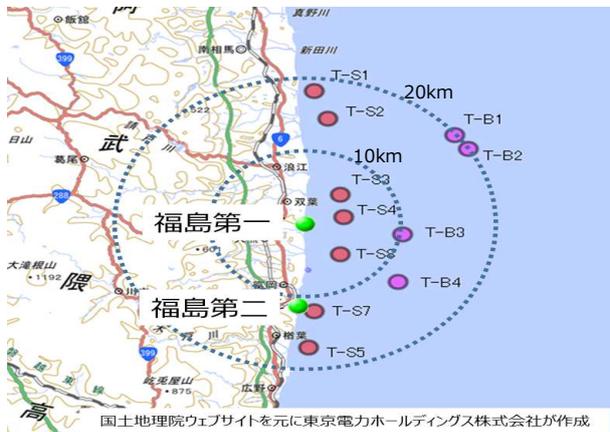
【有機結合型トリチウム（OBT）】

- ・魚の体の組織（有機物）に含まれるトリチウムのこと。組織と結合したトリチウムのため、有機結合型と言う。
- ・測定値は、乾燥させた魚を燃焼させたときに発生する水分に含まれるトリチウムの濃度。

(1) 魚の測定結果 (トリチウム (H3))

採取地点	採取日	魚種	全長 (cm)	体重 (kg)	組織自由水型トリチウム (Bq/L)	有機結合型トリチウム (Bq/L)	海水(H3) (Bq/L)	期間中における海水の平均値と幅		
								平均値	幅	
10 km～ 20 km 沖合	T-B1	ヒラメ	51.8	1.39	検出限界未満	検出限界未満	0.14	0.12	検出限界未満 ～ 0.14	
			54.6	1.71						
			54.7	1.63						
	T-B2	ヒラメ	72.3	4.56	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満			
			57.7	2.25						
			51.4	1.47						
	T-B3	ヒラメ	49.5	1.40	0.091	検出限界未満	0.11			
			44.8	0.99						
			59.5	2.58						
	T-B4	ヒラメ	53.5	1.93	0.082	検出限界未満	検出限界未満			
			61.4	2.67						
			44.8	0.93						
	10 km～ 20 km 沖合	T-B1	ヒラメ	57.1	2.06	検出限界未満	検出限界未満			検出限界未満
				57.2	2.08					
				65.4	3.26					
		T-B2	ヒラメ	48.0	1.01	検出限界未満	検出限界未満			0.11
				51.6	1.49					
				42.7	0.73					
		T-B3	ヒラメ	57.2	2.38	検出限界未満	検出限界未満			0.14
				44.7	1.03					
				49.5	1.28					
		T-B4	ヒラメ	50.2	1.40	検出限界未満	検出限界未満			検出限界未満
				44.0	1.07					
				38.1	0.57					
10 km～ 20 km 沖合		T-B1	ヒラメ	36.3	0.49	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満		
				63.2	2.61					
				41.5	0.63					
		T-B2	ヒラメ	56.2	1.49	検出限界未満	検出限界未満	0.12		
				63.0	2.73					
				48.1	1.23					
		T-B3	ヒラメ	43.8	0.98	検出限界未満	検出限界未満	0.12		
				54.5	1.60					
				48.2	1.14					
		T-B4	ヒラメ	39.4	0.68	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満		

- : 採取中止または試料量不足により分析中止



【組織自由水型トリチウム (FWT)】

- ・魚の体の水分に含まれているトリチウムのこと。水として体内 (組織内) を移動することから組織自由水型と言う。
- ・測定値は、魚を凍結乾燥して回収した水分に含まれるトリチウムの濃度。

【有機結合型トリチウム (OBT)】

- ・魚の体の組織 (有機物) に含まれるトリチウムのこと。組織と結合したトリチウムのため、有機結合型と言う。
- ・測定値は、乾燥させた魚を燃焼させたときに発生する水分に含まれるトリチウムの濃度。

(2) 海藻の測定結果（トリチウム（H3）、ヨウ素129、セシウム）

採取地点	採取日	試料名	組織自由水型 トリチウム (Bq/L)	有機結合型 トリチウム (Bq/L)	ヨウ素129 Bq/kg(生)	セシウム合計 Bq/kg(生)
1F 港湾内 (T-K1)	2024年5月23日	ほんだわら	-	-	-	1.6
1F 港湾外北側 (T-K2)	2024年5月28日	あずまねじもく	0.21	検出限界未満	検出限界未満	7.5
1F 港湾外南側 (T-K3)	2024年5月28日	あなあおさ	0.13	検出限界未満	検出限界未満	12

- 分析対象外



【組織自由水型トリチウム（FWT）】

- ・海藻の茎や葉の水分に含まれているトリチウムのこと。水として体内（組織内）を移動することから組織自由水型と言う。
- ・測定値は、海藻を凍結乾燥して回収した水分に含まれるトリチウムの濃度。

【有機結合型トリチウム（OBT）】

- ・海藻の茎や葉の組織（有機物）に含まれるトリチウムのこと。組織と結合したトリチウムのため、有機結合型と言う。
- ・測定値は、乾燥させた海藻を燃焼させたときに発生する水分に含まれるトリチウムの濃度。

Ⅲ. 福島第一原子力発電所港湾魚類捕獲状況（速報）

A. 物揚場付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

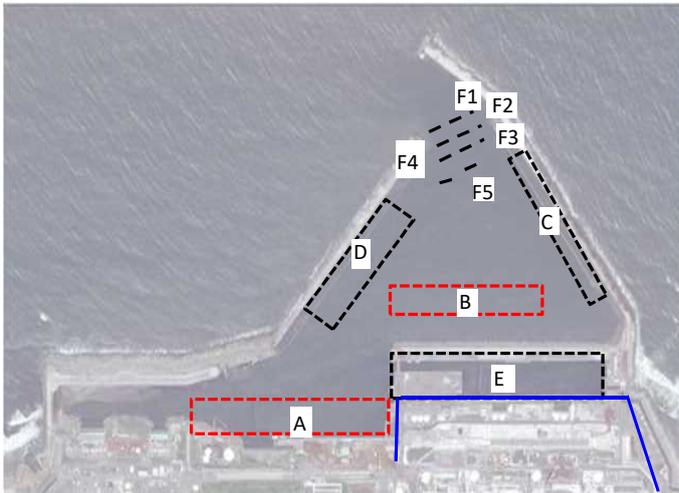
捕獲日	捕獲方法	捕獲魚種類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	はえ縄漁,かご網漁	17	クロソイ	ND(2.1)	70	70	31.5	0.442
2023年度	底刺し網漁,かご網漁	184	ウナギ	7.9	440	447.9	55.0	0.194
2024年4月	底刺し網漁,かご網漁	6	マコガレイ	重量不足のため測定対象なし				
2024年5月	かご網漁	3	エゾソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024年6月	かご網漁	1	クロソイ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/4	かご網漁	1	アイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/25	かご網漁	2	シロマル	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/1	かご網漁	1	マアナゴ	重量不足のため測定対象なし				
2024年9月		0	試料採取無し					

B. 東波除堤付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚種類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	451	ムラソイ	50	1,600	1,650	31.0	0.638
2023年度	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	394	クロソイ	16	750	766	29.0	0.326
2024年4月	底刺し網漁	39	ボラ	ND(3.2)	ND(2.3)	ND	38.0	0.488
2024年5月	底刺し網漁	24	スズキ	ND(2.4)	24	24	69.0	2.595
2024年6月	底刺し網漁	16	マコガレイ	ND(1.9)	16	16	39.0	0.690
2024/7/8	底刺し網漁	1	ボラ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/19	底刺し網漁	1	クロダイ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/7/22	底刺し網漁	1	コノシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/26	底刺し網漁	1	ニベ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/7/29	底刺し網漁	1	コノシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/31	底刺し網漁	1	マコガレイ	ND(1.8)	16	16	38.5	0.695
	底刺し網漁	1	メジナ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/5	底刺し網漁	1	カンパチ	重量不足のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ボラ	ND(2.2)	14	14	52.0	1.295
	底刺し網漁	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/7	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/9	底刺し網漁	1	マアジ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/13	底刺し網漁	1	ニベ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ニベ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/14	底刺し網漁	1	ニベ	重量不足のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ニベ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/23	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/26	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/30	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/4	底刺し網漁	1	マサバ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/6	底刺し網漁	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/9	底刺し網漁	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/11	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/18	底刺し網漁	1	マゴチ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/20	底刺し網漁	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/23	底刺し網漁	1	マゴチ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/25	底刺し網漁	1	コノシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/27	底刺し網漁	1	ボラ	重量不足のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	マゴチ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/30	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

魚類捕獲場所



- A : 物揚場付近
 B : 東波除堤付近
 C : 南防波堤付近
 D : 北防波堤付近
 E : 1～4号取水路開渠部付近
 F : 港湾口付近 (F1 : 外刺網、F2 : 内刺網①、
 F3 : 内刺網②、F4 : 内刺網③、
 F5 : 内刺網④)

C. 南防波堤付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

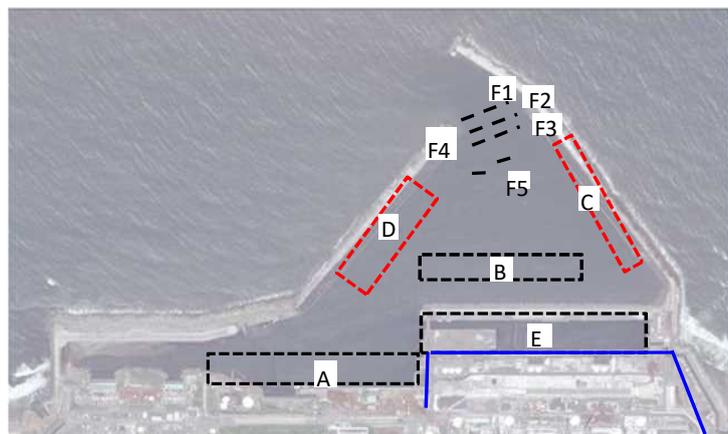
捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁,かご網漁	164	タケノコメバル	ND(2.5)	54	54	41.5	1.122
2023年度	底刺し網漁,かご網漁	115	ボラ	ND(3.4)	150	150	37.5	0.506
2024年4月	底刺し網漁,かご網漁	9	エゾイソアイナメ	ND(6.8)	20	20	23.0	0.108
2024年5月	底刺し網漁,かご網漁	3	コシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024年6月	底刺し網漁,かご網漁	4	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/26	かご網漁	2	クジメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/29	底刺し網漁	1	クロダイ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/31	底刺し網漁	1	コシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/14	底刺し網漁	1	ニベ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/30	底刺し網漁	1	アイナメ	重量不足のため測定対象なし				
	かご網漁	1	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/2	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/4	底刺し網漁	1	ニベ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/13	かご網漁	1	カサゴ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/20	底刺し網漁	1	コシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/23	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/25	底刺し網漁	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/30	底刺し網漁	1	コシロ	試料損傷のため測定対象なし				

D. 北防波堤付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名 魚種	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	348	マコガレイ	9.3	430	439.3	38.0	0.610
2023年度	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	310	スズキ	9.4	470	479.4	42.5	0.630
2024年4月	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	9	マコガレイ	ND(2.7)	12	12	37.0	0.646
2024年5月	底刺し網漁,かご網漁	11	クロソイ	ND(3.4)	20	20	40.0	0.772
2024年6月	底刺し網漁,かご網漁	14	マアナゴ	ND(2.1)	21	21	91.0	1.340
2024/7/4	かご網漁	1	マアナゴ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/5	底刺し網漁	1	マコガレイ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/11	かご網漁	1	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/12	底刺し網漁	1	コシロ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/15	底刺し網漁	1	マコガレイ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/17	底刺し網漁	1	マコガレイ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/18	かご網漁	2	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/22	底刺し網漁	1	マサバ	重量不足のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	スズキ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/24	底刺し網漁	1	スズキ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/25	かご網漁	1	クジメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/1	かご網漁	1	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/2	底刺し網漁	1	コシロ	重量不足のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	マコガレイ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/5	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ボラ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/8	かご網漁	1	シロメバル	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/9	底刺し網漁	1	マアジ	重量不足のため測定対象なし				
2024/8/22	かご網漁	1	クロソイ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/29	かご網漁	2	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
	はえ縄漁	1	マアナゴ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/4	底刺し網漁	1	ニベ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/5	かご網漁	1	エゾイソアイナメ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/6	底刺し網漁	1	コシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/12	かご網漁	1	メジナ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/16	底刺し網漁	1	マゴチ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/26	かご網漁	1	シロダイ	重量不足のため測定対象なし				
	はえ縄漁	1	マアナゴ	重量不足のため測定対象なし				
2024/9/30	底刺し網漁	1	マサバ	重量不足のため測定対象なし				

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

魚類捕獲場所



- A : 物揚場付近
- B : 東波除堤付近
- C : 南防波堤付近
- D : 北防波堤付近
- E : 1～4号取水路開渠部付近
- F : 港湾口付近 (F1 : 外刺網、F2 : 内刺網①、
F3 : 内刺網②、F4 : 内刺網③
F5 : 内刺網④)

E. 1～4号取水路開渠部内（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	かご網漁	13	ウナギ	48	1,700	1,748	71.0	0.618
2023年度	かご網漁	21	クロソイ	380	18,000	18,380	30.5	0.384
2024年4月		0	試料採取無し					
2024年5月		0	試料採取無し					
2024年6月		0	試料採取無し					
2024年7月		0	試料採取無し					
2024年8月		0	試料採取無し					
2024/9/5	かご網漁	1	マハゼ	重量不足のため測定対象なし				

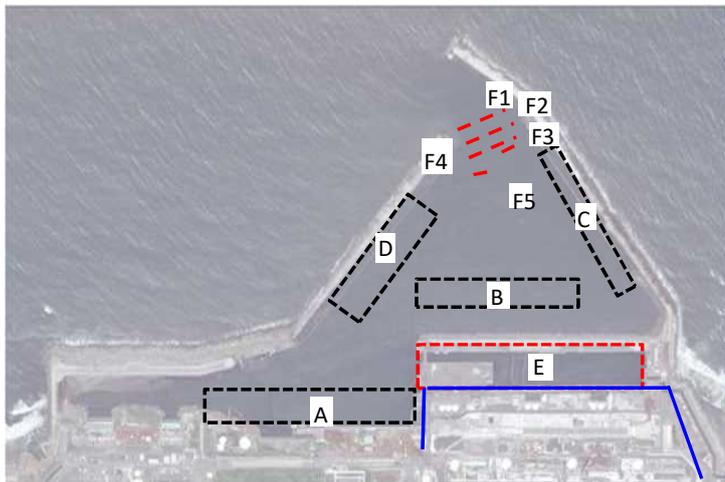
F. 港湾口付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁(F)	331	ムラソイ	4.2	180	184.2	36.0	0.936
2023年度	底刺し網漁(F)	250	マコガレイ	20	890	910	39.5	0.558
2024年4月	底刺し網漁(F)	22	マコガレイ	試料損傷のため測定対象なし				
2024年5月	底刺し網漁(F)	8	ニベ	試料損傷のため測定対象なし				
2024年6月	底刺し網漁(F)	5	ウミタナゴ	重量不足のため測定対象なし				
2024/7/2	底刺し網漁(F3)	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F3)	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/7/16	底刺し網漁(F2)	1	マコガレイ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F3)	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/7/30	底刺し網漁(F2)	1	マサバ	重量不足のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F3)	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/6	底刺し網漁(F3)	2	マコガレイ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/13	底刺し網漁(F3)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F4)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/20	底刺し網漁(F2)	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/8/27	底刺し網漁(F1)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F4)	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/3	底刺し網漁(F3)	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/10	底刺し網漁(F1)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F1)	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F5)	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/17	底刺し網漁(F3)	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2024/9/24	底刺し網漁(F3)	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F4)	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

捕獲魚類数合計 約 9,700 (2012年度に捕獲した829匹を含む)

魚類捕獲場所



- A : 物揚場付近
- B : 東波除堤付近
- C : 南防波堤付近
- D : 北防波堤付近
- E : 1～4号取水路開渠部付近
- F : 港湾口付近 (F1 : 外刺網、F2 : 内刺網①、
F3 : 内刺網②、F4 : 内刺網③、
F5 : 内刺網④)

IV. 福島第一原子力発電所港湾魚類対策（実施状況）



○港湾口底刺し網の実施状況（凡例 ）

- ・5地点を船舶の通行時及び週 1 回実施（2022年2月21日から追加）
- 外網：スズキ網（目合い4.5寸）
- 内網①、④：カレイ網（目合い4.5寸）、内網②、③：メバル網（目合い2.5寸）

○港湾内底刺し網の実施状況（凡例 : 集魚灯 : 多重網）

- ・2022年4月から一部の刺し網が集魚灯を試験的に設置
- ・2024年4月、その他4地点に集魚灯を設置（合計5地点に設置）

○港湾内かご網の実施状況（ : かご網 : 大型かご網）

- ・港湾内にかご網 2 5 個を設置
- ・2024年2月1日から大型のかご 1 基を試験的に導入
- ・2024年11月7日から餌の量を増加
- ・2024年11月21日から集魚灯を新たに設置

○魚類移動防止網の設置箇所

- ・港湾口南防波堤付近（凡例 ）
- ・東波除堤魚類移動防止網を2024年3月4日にリプレイス完了（凡例 ）

○シルトフェンスの設置箇所・物揚場（凡例 ）・1~4号機開渠内（凡例 ）

○港湾口ブロックフェンスの設置箇所（凡例 ）

○1~4号機開渠魚類移動防止網の設置箇所

- ・開渠出口への仮設魚類移動防止網の追加設置（凡例 ）（2021年6月26日設置）
- ・開渠出口へ本設の移動防止網設置（凡例 ）（2021年10月20日網設置）

○港湾内の追加魚類対策について

- ・1～4号機取水路開渠の環境改善を目的として、海底再被覆工事を2023年10月16日より開始し、2024年6月13日に工事完了（一層目：2023年10月16日～2024年1月25日、二層目：2024年2月19日～2024年6月13日）
- ・引き続き、港湾に流れ込むセシウムの低減対策（ガレキ撤去、フェーシング等）を進めるとともに、1-4号機取水路開渠内の環境を維持管理していくための対策をけんとうする。
- ・9月4日～5日に港湾内の海水・海底土（堆積土砂）を採取し、セシウム濃度の分析を実施中。